

小学校 5年 社会科

1 単元 「金魚養殖日本一の秘密を探ろう！」(水産業のさかんな地域)〔12時間完了〕

2 単元の目標

- (1) 弥富の金魚養殖が日本一であることに興味をもち、日本一の秘密について継続して追究しようとする。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- (2) 弥富の金魚養殖日本一の秘密を、地理的特徴や他産地と比較する中で、予想をしながら調べ、調べたことを基に、弥富の金魚の発展に関して自分なりの考えをもつことができる。
(社会的な思考・判断)
- (3) 見学やインターネットなどを活用して資料や情報を収集し、弥富の金魚養殖の概要と特色について調べ、調べたことを発表したり、地域に働きかけたりできる。
(資料活用や表現の技能)
- (4) 弥富の金魚養殖日本一の秘密を、歴史的背景や地理的特徴、人々から信頼される質の高い金魚を育て、ブランド力向上に努めてきた人々の熱意にあることなどを、多面的にとらえることができる。
(社会的事象への知識・理解)

3 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度…【関】	弥富の金魚養殖に興味をもち、自ら進んで調べたり、追究の方向を確認したりして、自分の課題を整理して、学びの後を継続して振り返ろうとしている。
社会的な思考・判断 …【思】	調べた資料や、友達、金魚養殖に携わる人とのかかわりの中から、自分で獲得した知識を修正し、見方や考え方を広げ、弥富の金魚の発展に関して、自分なりの考えをもつことができている。
観察・資料活用の技能・表現 …【表】	調べたことを自分なりに整理し、友達や先生に伝えたり、弥富の金魚PRポスターを作成し、自分の思いを外に向けて表現できている。
社会的事象についての知識・理解…【知】	弥富の金魚養殖日本一の秘密を、歴史的背景や地理的特徴、ブランド戦略など、多面的に理解している。

4 指導計画(12時間完了)

段階	学 習 活 動	指導の手だて・支援	評価規準・方法
つ か む	<p>第1時 共通課題を決めよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富の金魚と言って思い付くことを発表する。 ○町のキャラクター「きんちゃん」 ○宇宙に飛んだ ・弥富金魚漁業協同組合の資料から弥富の金魚は、生産売上高や生産品種、養殖池面積で、全国一であることを知る。 ・弥富の金魚は、なぜ金魚養殖で日本一になったのだろうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宇宙に飛んだ金魚については、何の研究で飛んだのか資料を基に、概略を紹介する。 ・弥富の金魚 〔平成16年1月1日時点〕 生産売上げ高 ：約12億5千万円 生産品種 ：国内で市販されている25種類全部 養殖池面積：約125ha ・言葉の解説は丁寧に行う。 	<p><関・意・態> 自分の住む町に、日本一の産業があり、その秘密を探ろうとする意欲をもつことができる。</p> <p>(方法) ノート</p>

段階	学 習 活 動	指導の手だて・支援	評価規準・方法												
見 通 す	第2時 日本一の秘密を予想しよう ・暖かい土地と寒い土地の学習で学んだ地理的特徴から考える。 ○低地で、水が豊富にある ○田が多く残っている ○名古屋に近く、交通の便がよい ・奈良県の大和郡山市の方が多く生産しているにもかかわらず、生産売上げ高や生産品種で日本一である秘密を予想する。 ○高く売れる金魚を多く育てているから ○全部の品種を育てられる技術があるから	・大和郡山市の場所を確認した後、弥富と大和郡山との比較をする。 〔平成16年1月1日時点〕 <table><tr><td></td><td>弥富</td><td>大和郡山</td></tr><tr><td>生産匹数</td><td>約4100万匹</td><td>約8000万匹</td></tr><tr><td>生産売上高</td><td>約12億5千万円</td><td>約6億円</td></tr><tr><td>生産品種</td><td>25種類全部</td><td>約20種類</td></tr></table>		弥富	大和郡山	生産匹数	約4100万匹	約8000万匹	生産売上高	約12億5千万円	約6億円	生産品種	25種類全部	約20種類	<思考・判断> 既習の学習で身に付けた見方を基に、日本一の秘密を予想したり、データから日本一の秘密を読み取ったりしている。 (方法) ノート
	弥富	大和郡山													
生産匹数	約4100万匹	約8000万匹													
生産売上高	約12億5千万円	約6億円													
生産品種	25種類全部	約20種類													
追 究 す る	第3～7時 日本一の秘密を探ろう ・インターネットで弥富の金魚日本一の理由を調べる。 ・調べたことを発表する。 ○粘土質の土と金魚の生育によい鉄分を多く含む水が豊富にある ○郡山の金魚商人が、約130年前、熱田の宿を目指す道中に、今の弥富町で金魚を休ませる池を作ったのがきっかけ ○高級金魚の産地 ○高級金魚やいろいろな金魚を育てられる理由を知りたい。	・弥富の金魚については、市役所や歴史民俗資料館などのホームページ以外にも、愛知エースネットやいろいろな会社が紹介している。日本一の秘密が書かれたところ以外でも、興味をもった資料については、印刷して持ち帰らせ、自学をさせたい。	<資料活用> インターネットを活用して、日本一の秘密にせまる適切な資料を見付けようとしたり、興味をもった資料を印刷したりしている。 また、調べたことを基に、自分なりの結論を導き出している。 (方法) 資料、ノート												
深 め る	第8～9時 学区内で金魚養殖を営んでいる方に話を聞きに行こう ・大和郡山市よりも弥富の方が生産売上げが多い理由 ・高級金魚やいろいろな金魚を弥富が育てられる理由 ・金魚養殖日本一の秘密 ・金魚の飼育見学 ・質疑応答 ・見学のまとめ	・工業製品のように品質が一定のものは育てられない。生き物を育てる仕事の難しさと、それに挑む養殖業者の方の熱意を感じ取らせる。 ・金魚の種類によって、値段が違ったり、同じ種類の金魚でも、色や柄によって市場に出荷できないものもあることを理解させる。	<知識・理解> 金魚養殖に携わる人々の苦労が分かるとともに、金魚の種類によっては、何倍も手を掛けて育てなければならないことや、すべてが出荷されるわけではないことを理解している。 (方法) ノート												

段階	学 習 活 動	指導の手だて・支援	評価規準・方法
広 め る	<p>第 10 時 弥富の金魚の将来について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本一であり続けるための秘訣は何だと考えるか。 ○金魚に対する愛情 ○金魚生産にかかわる人々の熱意と協力 ○弥富という金魚ブランドの向上 <p>・近年の高齢化問題と重労働に対する解決への取組として、クローン技術を生かした金魚生産があることを知る。</p>	<p>・今まで培ってきた弥富というブランド力のおかげで、弥富の金魚卸売り市場には、全国各地から金魚が集まり、弥富の金魚生産量の約 2 倍の 8 千万匹ほどが取り引きされ、年間約 24 億円の売上げがある。これも全国一であることを知らせる。</p>	<p>< 思考・判断 > 金魚養殖において、もっとも大切にしなければならないことや、これからの課題を考えることができる。</p> <p>(方法) ノート</p>
見 つ め 直 す	<p>第 11～12 時 学んだことを基に弥富の金魚を P R するポスターを作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と相談して、弥富の金魚のよさを P R するポスターを作る。 ・出来上がった物を、金魚養殖の P R 活動に役立ててもらう。 	<p>・弥富の金魚養殖の素晴らしい点を積極的に P R したり、養殖業に携わる人々への応援のメッセージを盛り込んだ内容を考えさせる。</p>	<p>< 資料活用 > 今まで学んだ事を基にして、P R ポスターを作っている。</p> <p>(方法) P R ポスター、 ノート</p>